

プログラム

10月29日(土)

9:10～9:15 開会式 会長 松木 雄

9:15～10:25

学会奨励賞セッション

座長：安川 力 (名古屋市大)
松木 雄 (参天製薬)

AW-1 9:15 ドライアイによる神経障害性疼痛：三叉神経節と三叉神経核の連関に着目した病態メカニズムの解明

○鄭 有人^{1,2)}、三上 義礼²⁾、伊藤 雅方³⁾、富田太郎²⁾、大島 大輔²⁾、堀 裕一¹⁾、赤羽 悟美²⁾

¹⁾ 東邦大学医学部眼科学講座、²⁾ 東邦大学医学部生理学講座統合生理学分野、³⁾ 関東学院大学栄養学部

AW-2 9:25 ヨウ素レシチンによるマウス自己免疫性ぶどう膜炎治療効果の検証

○中村 有孝^{1,2)}、保科 直美²⁾、高橋 大輔²⁾、鈴木功一郎²⁾、長谷 耕二²⁾

¹⁾ 和歌山県立医科大学、²⁾ 慶應義塾大学

AW-3 9:35 網膜静脈閉塞症病態における TRPV4 の機能解明

○田中美留豊¹⁾、西中 杏里¹⁾、大原健太郎^{2,3)}、須軽 英仁^{2,3)}、宍戸 祐二^{2,3)}、杉浦 朱美^{2,3)}、守口由紀子^{2,3)}、東井 周^{2,3)}、中村 信介¹⁾、嶋田 薫^{2,4)}、渡邊 修造²⁾、原 英彰^{1,4)}、嶋澤 雅光^{1,4)}

¹⁾ 岐阜薬科大学 薬効解析学研究室、

²⁾ ラクオリア創薬株式会社、³⁾ 名古屋大学 環境医学研究所 ラクオリア創薬産学協同研究センター、

⁴⁾ 岐阜薬科大学 創薬イノベーション共同研究講座

AW-4 9:45 硝子体内投与で用いる AAV 基剤の検討

○小野口伶奈、菅野江里子、佐渡 愛、新林 史悠、田端希多子、富田 浩史
岩手大学 理工学部

AW-5 9:55 アニオンチャンネルロドプシンを用いた視細胞保護の可能性

○木村 悠、菅野江里子、岩間 優記、田端希多子、富田 浩史
岩手大学 理工学部

AW-6 10:05 ダイレクトリプログラミング法による網膜 Müller 細胞から視細胞への分化誘導条件の検討

○遠藤 由佳¹⁾、菅野江里子¹⁾、福田 智一¹⁾、世古 裕子²⁾、田端希多子¹⁾、富田 浩史¹⁾

¹⁾ 岩手大学 理工学部、²⁾ 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 感覚機能障害研究部

AW-7 10:15 脂質代謝酵素 PNPLA6 は網膜色素上皮細胞と視細胞の相互作用を介して恒常性の維持に関わる

○小野 喬^{1,2)}、武富 芳隆²⁾、相原 一¹⁾、村上 誠^{2,3)}

¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科 眼科学、²⁾ 東京大学大学院医学系研究科 疾患生命工学センター、

³⁾ AMED-CREST

10:40 ~ 12:10

シンポジウム 1 視覚再生 / オプトジェネティクスと創薬

オーガナイザー：富田 浩史 (岩手大・視覚神経科学)

藤井 直敬 (理化学研究所・脳科学総合研究センター)

S1-1 10:40 オプトジェネティクス技術による網膜変性阻止および視覚再建の可能性

○菅野江里子、畠山暁斗、田端希多子、佐山達樹、小野口玲奈、遠藤由佳、木村悠、富田浩史、岩手大学理工学部 視覚科学研究室

S1-2 10:58 キメラロドプシンを用いた高感度視覚再生遺伝子治療の取り組み

堅田 侑作

慶應義塾大学医学部 光生物学研究室 / 慶應義塾大学医学部 眼科学教室 / 株式会社レストアビジョン

S1-3 11:16 新規オプトジェネティクス遺伝子による高光感度な視覚再生治療を目指して

角田 聡

名古屋工業大学 大学院 生命応用化学専攻

S1-4 11:34 有機色素分子を部材とする世界初の医療機器「光電変換色素薄膜型人工網膜 OUReP」

○松尾 俊彦¹⁾、石金 浩史²⁾、内田 哲也³⁾

¹⁾ 岡山大学学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 / 岡山大学病院眼科、²⁾ 専修大学人間科学部心理学科、

³⁾ 岡山大学学術研究院自然科学学域 / 工学部

S1-5 11:52 人工網膜による視覚再建

不二門 尚

大阪大学大学院生命機能研究科・脳神経工学講座

12:25 ~ 13:25

ランチョンセミナー 1 深堀！眼疾患における酸化と糖化

座長：西田 幸二 (大阪大)

LS1-1 12:25 糖化の基礎から眼疾患とのかかわりまで

永井 竜児

東海大学農学部食生命科学科食品生体調節学研究室

LS1-1 12:55 糖尿病網膜症早期における網膜機能障害と酸化・糖化の関わり

長岡 泰司

日本大学

共催：参天製薬株式会社

13:40 ~ 14:40

特別講演 1

座長：村上 晶（順天大）

SL1 13:40 角膜難治性疾患の基礎と臨床

西田 幸二

大阪大学大学院医学系研究科脳神経感覚器外科学（眼科学） 主任教授

14:55 ~ 16:15

シンポジウム 2 遺伝性網膜疾患の臨床と創薬の展望

オーガナイザー：前田亜希子（神戸アイセンター病院）

池田 華子（京都大）

S2-1 14:55 遺伝性網膜疾患の遺伝カウンセリング

○吉田 晶子^{1,2)}、前田亜希子²⁾

¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 ゲノム医療学講座、²⁾ 神戸市立神戸アイセンター病院

S2-2 15:11 顕性遺伝型網膜色素変性症に対するゲノム編集治療製剤の開発

大西 暁士

株式会社 VC Gene Therapy / 理化学研究所 / 立命館大学 / 神戸アイセンター病院 研究センター

S2-3 15:27 薬物治療の開発研究

池田 華子

京都大学医学部附属病院 眼科

S2-4 15:43 iPS 細胞由来網膜組織を用いた視機能再建

万代 道子

神戸市神戸アイセンター病院 研究センター

S2-5 15:59 遺伝性網膜疾患の遺伝子診断と疾患レジストリ

池田 康博

宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野

16:25 ~ 17:15

一般口演 1 角膜

座長：徳重 秀樹（千寿製薬）

福田 正道（金沢医科大学）

O1-1 16:25 角膜におけるアセチルコリンの遊離と感覚神経の発火制御

○益岡 尚由、何 強、清井 武志、村松 郁延

金沢医科大学

- O1-2** 16:35 ブロムフェナクナトリウム点眼液による角膜上皮障害に対するレバミピドの発症予防効果
○福田 正道、柴田奈央子、初坂奈津子、武田 峻、生駒 透、川上帆乃香、柴田 哲平、水戸 毅、久保 江理、佐々木 洋
金沢医科大学
- O1-3** 16:45 レバミピドはコレシストキニン1受容体を介してドライアイの痛覚過敏を抑制する
○田川 義晃¹⁾、野田 航介¹⁾、乙黒 兼一²⁾、村田 美幸¹⁾、石田 晋¹⁾
¹⁾ 北海道大学大学院医学研究院、²⁾ 北海道大学獣医学
- O1-4** 16:55 涙液中エンケファリンの測定
○菊地 香澄、田川 義晃、廣瀬 育代、石田 晋
北海道大学大学院医学研究院
- O1-5** 17:05 乳酸菌配合複合サプリメント（オプティエイド® DE）の涙液回復作用の機序検討
○増田 智美、大塚 智裕、高橋 佑次、荒川礼二郎、岡部 毅、内藤 聡
わかもと製薬株式会社 相模研究所

17:25 ~ 18:05

一般口演 2 緑内障・視神経保護

座長：柏木 賢治（山梨大）
杉山 和久（金沢大）

- O2-1** 17:25 ラット NMDA 誘発網膜神経傷害モデルにおける YAP の発現変化
○柏原 俊英、森田 祐生、平島 枝里、森田 茜、中原 努
北里大学 薬学部 分子薬理学教室
- O2-2** 17:35 NFATc 阻害剤の軸索保護効果における IL-1 β と NFATc1 発現の検討
○塚原 千広¹⁾、佐瀬 佳奈¹⁾、藤田 直輝¹⁾、有菌 生吹^{1,2)}、北岡 康史^{1,2)}
¹⁾ 聖マリアンナ医科大学 眼科、²⁾ 聖マリアンナ医科大学 分子神経科学
- O2-3** 17:45 ULK と高眼圧モデル
○北岡 康史¹⁾、藤田 直輝²⁾、塚原 千広²⁾、有菌 生吹¹⁾、佐瀬 佳奈²⁾
¹⁾ 聖マリアンナ医科大学大学院分子神経科学、²⁾ 聖マリアンナ医科大学眼科学
- O2-4** 17:55 新規選択的 EP2 受容体作動薬オミデネパグ イソプロピルの眼圧下降作用メカニズム解析
○公文 雅士¹⁾、不破 正博¹⁾、島崎 敦¹⁾、小谷 敬子¹⁾、岩村 亮²⁾、米田 健治²⁾、加藤 雅智¹⁾
¹⁾ 参天製薬株式会社、²⁾ UBE 株式会社

18:05 ~ 18:25

総会・次期会長挨拶・学会奨励賞授与式

10月30日(日)

9:00 ~ 9:40

一般口演 3 網膜・水晶体

座長：中原 努 (北里大・薬理学)
原 英彰 (岐阜薬科大)

O3-1 9:00 マウスおよびウサギの加齢に伴う水晶体弾性変化測定

○小田 知子、田中 康久、石井 麻衣、山口 泰人、加藤 雅智
参天製薬株式会社奈良研究開発センター

O3-2 9:10 TRPV チャネルを介した EMT 抑制メカニズムの解析

○中澤 洋介¹⁾、杉山 裕紀¹⁾、河田 沙礼¹⁾、長井 紀章²⁾、山本 直樹³⁾、
Petrova Rosica⁴⁾、Donaldson Paul⁴⁾、多胡めぐみ¹⁾
¹⁾ 慶應義塾大学薬学部、²⁾ 近畿大学薬学部、³⁾ 藤田医科大学、
⁴⁾ School of Medical Sciences, University of Auckland

O3-3 9:20 遺伝性神経変性疾患である網膜色素変性に対する神経保護治療の可能性

小沢 洋子
聖路加国際大学

O3-4 9:30 網膜静脈閉塞症モデルに対する抗 VEGF/ 抗 Ang-2 バイスペシフィック抗体の作用

○中村 信介¹⁾、栗山 愛加¹⁾、日高 八重¹⁾、阿部 寛登²⁾、井口 勇太²⁾、添田 哲弘²⁾、
嶋澤 雅光^{1,3)}、原 英彰^{1,3)}
¹⁾ 岐阜薬科大学 薬効解析学、²⁾ 中外製薬株式会社 プロダクトリサーチ部、
³⁾ 岐阜薬科大学 創薬イノベーション

9:50 ~ 10:40

一般口演 4 安全性・薬物動態

座長：奈邊 健 (摂南大・薬理学)
中村 雅胤 (参天製薬)

O4-1 9:50 ナブパクリタキセルとゲムシタピン併用療法による角膜涙道障害

○柏木 広哉¹⁾、戸高 明子²⁾
¹⁾ 静岡県立静岡がんセンター眼科、²⁾ 静岡県立静岡がんセンター消化器内科

O4-2 10:00 抗アレルギー薬フマル酸ケトチフェン溶出コンタクトレンズ装用直後の眼刺激感

○土至田 宏¹⁾、小野 純治²⁾
¹⁾ 順天堂大学医学部附属静岡病院、²⁾ 小野眼科クリニック

O4-3 10:10 トラニラスト封入コンタクトレンズの眼表面における持続的な薬物放出の評価

○小早川信一郎¹⁾、檜野 栞²⁾、松永 透²⁾、後藤 涼花³⁾、矢野 詩歩³⁾、長井 紀章³⁾
¹⁾ 日本医科大学武蔵小杉病院、²⁾ (株)シード、³⁾ 近畿大学薬学部製剤学研究室

O4-4 10:20 シクロデキストリンとカチオン性基からなる共重合体 CDQA ポリマーはレバミピドの角膜含有量を高める

○長井 紀章¹⁾、門脇 玲太¹⁾、後藤 涼花¹⁾、出口粧央里¹⁾、吉富 丈二¹⁾、大竹 裕子¹⁾、
松田 将²⁾、小林 滉²⁾、原田 英治²⁾

¹⁾ 近畿大学薬学部、²⁾ 日油株式会社

O4-5 10:30 ダイヤモンド電極による緑内障点眼薬の電気化学リアルタイム計測

○栄長 泰明¹⁾、米田 真央¹⁾、緒方 元気¹⁾、山岸 麗子²⁾、本庄 恵²⁾、相原 一²⁾

¹⁾ 慶應義塾大学理工学部化学科、²⁾ 東京大学医学部眼科

10:55 ~ 11:55

特別講演 2

座長：相原 一 (東京大)

SL2 10:55 網膜疾患の病態解明とアカデミア創薬への挑戦

嶋澤 雅光

岐阜薬科大学 生体機能解析学大講座 薬効解析学研究室

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー 2 マクロライド系抗菌薬の基礎と臨床

座長：浅利 誠志 (大阪大)

LS2-1 12:15 マクロライド系抗菌薬の特性

渡辺 彰

東北文化学園大学

LS2-1 12:45 マクロライド系抗菌薬の臨床での可能性

子島 良平

宮田眼科病院

共催：千寿製薬株式会社

13:30 ~ 15:00

シンポジウム 3 アドヒアランス～確実な薬効発現のために～

オーガナイザー：谷戸 正樹 (島根大)

中澤 徹 (東北大)

S3-1 13:30 緑内障点眼アドヒアランスの実態

稲谷 大

福井大学

S3-2 13:48 緑内障点眼アドヒアランスの低下要因

梅野 哲哉

旭岡アイクリニック

S3-3 14:06 緑内障点眼手技の実態

谷戸 正樹

島根大学医学部眼科学講座

S3-4 14:24 薬剤師による緑内障点眼指導—少しだけ進化したかも—

池田 博昭

徳島文理大学 香川薬学部 医療薬学講座

S3-5 14:42 アドヒアランス改善を目指した薬剤の開発状況

東出 朋巳

金沢大学医薬保健研究域医学系眼科学

15:00 ~ 15:05 閉会式 会長 松木 雄
